

3節間6 企画書 解答用紙

(1) 新しい生活様式で求められていること

買い物・通販も利用

- ・1人または、少人数で買い物時間に
- ・サンプルなど展示品への接触は控えめに、
- ・すりた時間、場所を選ぶ
- ・すれ違うときは距離離さず
- ・予約制を利用してやったりと、



3密の回避

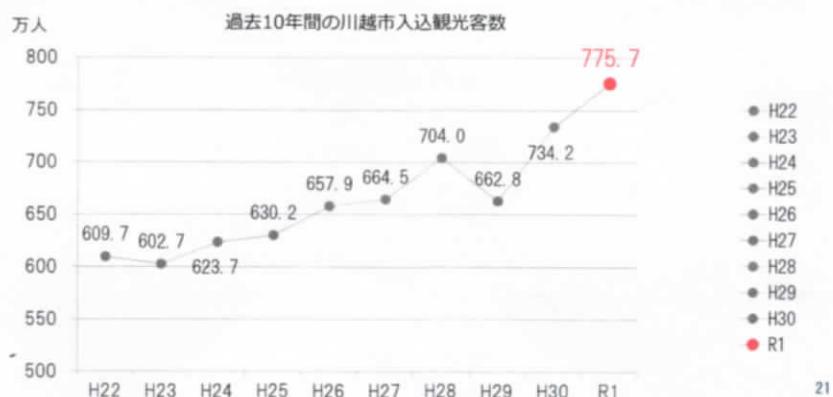
(2) 川越市観光アンケート調査報告書 2019年と新しい生活様式で予盾している現状や課題

新しい生活様式では、

3密は回避
しなければならない

川越市入込観光客数：775万7千人(報告書P1)

一方で、年々増加している！



人気立ち寄り観光地
上位5位

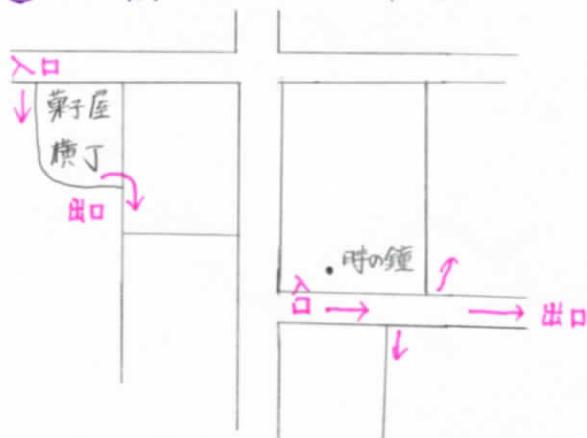
- 1 時の鐘(歳末の町並み)
- 2 菓子屋横丁
- 3 喜多院
- 4 川越氷川神社
- 5 川越城本丸御殿

(報告書P13)

3密を回避しつつ、観光をしてもらわなければならぬ。

(3) 課題を解決するための具体的な方策

① 混む場所は歩行者を一方通行にしてはどうか？



② 喜多院、氷川神社、本丸御殿は

入場制限
予約

などを取り入れてみては

どうか？

③ 菓子屋横丁のお菓子の通販サイトを作成してはどうか？

一方通行にして、対面の密を防ぐ

解答用紙 (2) (その3) コロナ後の観光を考える

(7) 年 (4) 組 (27) 番 氏名 (田中美優)

3 節問 6 企画書 解答用紙

『今、私たちに求められていること』

□ コロナウイルス感染拡大防止のため私たちに求められていることは 3つ!!

- ① 身体的距離の確保 (2m ベスト!)
- ② マスクの着用
- ③ 手洗い

この3点を踏まえて、「日常生活の各場面別の生活様式」が発表されました。

その中の1つである、

「買い物・計画でなく素早く済ます」という項目があります。

レポート「川越市観光アート調査報告書」では、

観光時間半日(4時間以上)の観光客の割合は

57.2% → 66.8%へ増加しているんです。(報告書P11)

なぜ増加している?

訪問時間の分散が出来てほしいから。

川越のお店は、開店時間 AM 10:00 ~ の所が多く、その時間を目指し、観光客が訪問し混雑してしまう。混雑のせいでレジで混んでいたり、見つけた商品がなく見つけられたりして、自然とお店は 1~2 時間以上増えててしまう。



開店時間をずらす。

川越の並ぶお店の構造、開店時間もずらし、訪問時間の分散を目指すことが必要だと思います。その時期のトレンドで合わせて開店時間もずらし、人流量を緩和することで、「窓」が避けられ、お店側も合理的な営業を行えると思います。

解答用紙 (2) (その3) コロナ後の観光を考える

(3) 年 (3) 組 (14) 番 氏名 (風間 美里)

)

3節問 6 企画書 解答用紙

新型コロナウイルスによる新しい生活様式

現在 新型コロナウイルスの影響で生活様式が変わっている。

■ 感染防止の3つの基本

1. 身体距離の確保
びのりをとる。2m 空ける。
2. マスクの着用
3. 手洗い
30秒程度、水と石けんで洗う

また、
[こまめに換気する。
体温測定
3密の回避
手洗い・うがい]

これらがして生活するには



川越で観光する時間 半日 (4時間以上) の観光客の割合が増加

57.2% → 66.8% (=7.6%)

これは、観光をよりよくしようという取り組みをされているからである。

この結果、車での観光時間の延長が課題となっている。

しかし、観光時間を延長しようとすると、毎日観光者が来るのには川越の人々毎日やることなくなるだろう。

私が思う対策

現在新型コロナウイルスによって“分散”という言葉によく耳にする。

この“分散”ということを使つて観光するルートをつくって作り。

密集でせざる観光時間も延長させない。

また、埼玉県民も多くの来るたる スケジュール を決める。

| | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 例) | 6月 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | ⑥ |
| | 7 | 8 | ⑨ | 10 | 11 | 12 | 13 |
| | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| | 28 | 29 | 30 | | | | |

→ 埼玉県営

ルート①

川神社 → 喜多院 → 草子屋横丁
→ ... → クラモール

ルート②

草子屋横丁 → 氷川神社 → 藏の町
→ クラモール ... → 喜多院



解答用紙（2） (その3) コロナ後の観光を考える

(3)年(3)組(1)番 氏名(荒山千陽)

3節問6 企画書 解答用紙

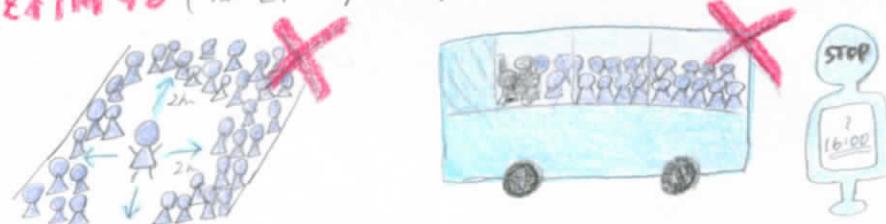
「新しい生活様式」を取り入れた川越観光の企画書

① 目的

新型コロナウイルスにより、衰退し落ち込みが深刻な観光業に「新しい生活様式」を取り入れ、「withコロ」の形として復興を目指すため。

② 課題・問題点

- ・ 人の間隔はできるだけ2m(最低1m)空ける(生活様式)やすれ違うときは距離をとるマナー(生活様式)となるにこぎつけず、一番街の道が狭い(報告書P18)や、人が大勢いて一番街が怖い(報告書P18)、一番街は人と車が多くて大変(報告書P18)などと、狭い道をたくさんの人々が通る、つまり、密の状態となり危険が高まってしまう。
- ・ また、観光用の巡回バスが17時13分、巡回バスの最終到着(報告書P19)であるように、巡回バスの時間に合わせて乗る観光客は、混んでいる時間を避けて公共交通機関を利用する(生活様式)ということが難しくなる、観光時間よりも短くな。



③ 企画内容

- ・ 駅付近に簡単な案内所を設置し、一定の時間や人数で入場制限を設ける。狭い道などでの人との間隔の呼びかけや、右側通行などを通行の仕方を決める。
- ・ 巡回バスの本数を増やし、一席ずつ空きはどうし、間隔をあける。
または入場制限を設ける。
- ・ 入場制限を設ける場合は、入場制限状態をいつどこにいても確認することができるよう、観光用のインターネットのアソシケーションを使う。(作り)



④ 効果

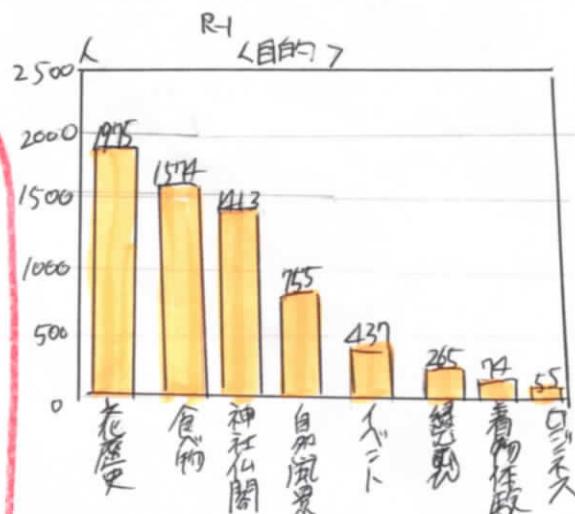
入場制限を設けることや、新しいルールへ呼びかけなどでコロナウイルス感染拡大を防止するとともに観光業の復興へつながる。
それに伴い、インターネット環境を整えることでより効率よく「withコロ」の形での観光業の向上を図ることができる。

3節問6 企画書 解答用紙

川越での買い物について現状

・川越にはデリバリーでは食べられないケルメが沢山あります。右の表は川越にくる目的が分かたる表です。見てみると多くの人が食べ物を目的として来ていることが分かります。

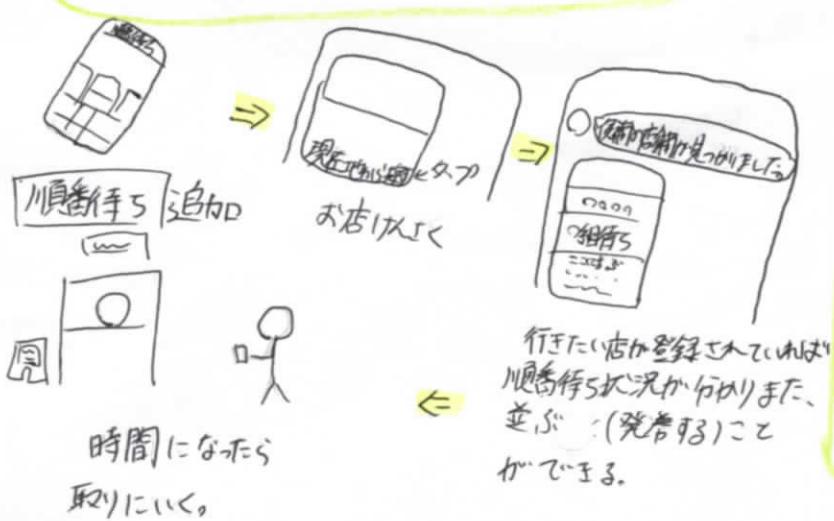
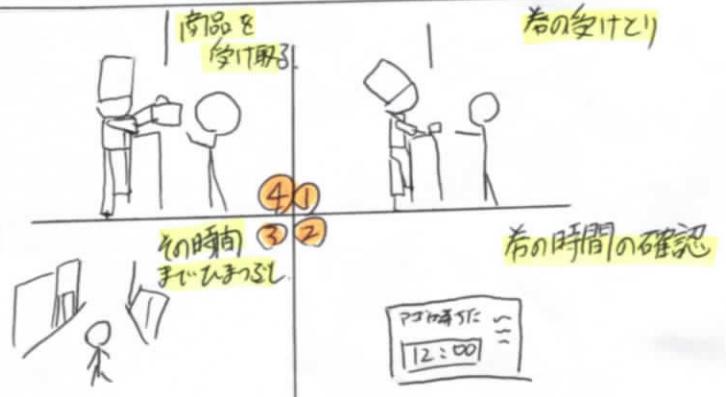
なので新しい生活様式のデリバリーや通販などで購入ができないために、現地に行かなければならぬ、そのため、人が密集してしまいます。



(報告書 P.6)

解決策

・今年川越で見た「アコム落札」いうヤン屋があり、そこは開店30分前頃から券を配布し、券に書かれている時間に店に行き購入する方法がありましたが、今LINEの非公式の「順番待ち」いうものがあり、その「順番待ち」アカウントに登録されているお店の整理券の発券が可能です。



このように券などを発券することにより、人が密集することなくよりスマートに買い物ができるようになります。なのでこの川越のお店もって順番待ちに登録をしてくれば、川越は歩道が狭く行列がでたら歩きたくないという事もなくなると思います。

解答用紙(2)

(その3) コロナ後の観光を考える

(3)年(5)組(5)番 氏名(梅津佳奈)

3節間6企画書 解答用紙

「新しい生活様式」について

(目的) コロナ前の川越は、多くの観光客がいたことに付し、コロナが流行ってからは、観光客が減少していった。この為、安心して観光客が訪問できるようにを目標にしている。

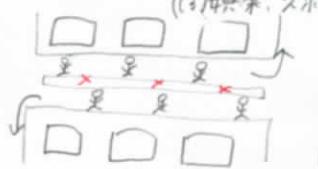
〔現状・問題点〕

- ・川越の観光スポットは駅から遠いため、バスを使って移動する人が多い。一気に大勢の人かバスを使うと密集してしまい、感染のリスクが高まる。(報告書P.8)
- ・観光で2人以上、密接な距離で立つ。同時に、観光客が多いと距離感が保てない。(報告書P.18)
- ・観光時間が57.2%→66.8%へ増加した。(報告書P.11)



〔企画内容〕

- ・すれ違うときは距離を保つ。(3)娛樂、スポーツ等



一定の距離をあける。

・真ん中には人が通れないようにする。

・進行方向を逆にする。

効果

・密接にならない。

・人の距離感がある。

・方向が決まる。2人と、人通りがスムーズになる。

- ・バスの本数を増やす。&時間による値段変更。(3)公共交通機関の利用・混み合う時間帯(午後1時~4時)



効果

-このバスに乗る観光時間によると値段を変える
客が限らなければ、密接なし、観光客の人数
密接しない。

効果

が限らなくなる。

- ・計画でた22時早く済ます(3)買い物

密接しないように、一人一人の観光時間を減らす。

効果

一人一人の観光時間が減る、人が集まるのが限らなくなるため、密接しない。

〔お願い〕

- ・マスクは

必ず着けないと。



・2m程、

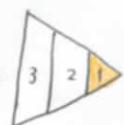
距離をあける。



ソーシャルディスタンス

・うるさい声は

小さめに。



川越観光を安心して楽しめようには、個々でも感染対策を行なうことが大切です。

解答用紙 (2) (その3) コロナ後の観光を考える

(3) 年 (6) 組 (21) 番 氏名 (下井 瑞穂)

3節問6 企画書 解答用紙



ペンギン先生と
川越観光の課題を考えよう!

ペンギン先生! 新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」と川越観光の現状は今どうなっているのですか?



説明しよう! 「新しい生活様式」に混んでいる時間は避けろという項目があるのか? どうしても時間をずらして観光をするのが難しいことが現状なのだ...

どんなことでですか!?



実は、観光客のほとんどは 午前10時から11時 に来て 午後3時には帰ってしまう人が多いのだ。その背景には 午後4時にはほとんどの店が閉まつてい夜からの観光スポットがほとんどないのが原因だと言えるだろ。川越観光は初めて行く人が多いから、午前中から行く人も多いのだ。
どうすればこの問題を改善できるかな?

私は、やはりお店の閉店時間を遅くして夕方からでも行きやすいようにするべきだと思ふ。暗くなても写真が映える場所など他にもたくさんあると思うので、アピールしていくべきだと思ふ。